(様式)

総合工学委員会・機械工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：計算科学シミュレーションと工学設計分科会

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 所属委員会名 | ○総合工学委員会、機械工学委員会 |
| 2 | 委員の構成 | 35名以内の会員又は連携会員 |
| 3 | 設置目的 | 計算科学シミュレーションは、ものづくりの設計開発への多大な貢献に始まり、工学設計全般に対する有力な手段である。工学設計におけるマルチスケールマルチフィジクスの領域で計算科学シミュレーション技術の開発を首尾よく行うには、関係する多くのコミュニティーが同じテーブルで議論することが重要である。わが国では平成24年度完成を目指した10ペタFLOPS級の、世界最先端・最高性能の次世代スーパーコンピュータの開発プロジェクトが進められている。この世界最先端・最高性能の次世代スーパーコンピュータを工学設計において最大限に利用するためにも多くのコミュニティーが一同に会し、共通する計算科学シミュレーション技術基盤についての検討を可及的速やかに実施することが必要であり、多くのコミュニティーの代表者が集まる学術会議が最もふさわしい場である。 |
| 4 | 審議事項 | (1) ものづくりや工学設計に関する計算科学の共通する課題、次世代スーパーコンピューティングを含む計算科学シミュレーションの基盤技術を明確にする。<br>(2) 上記を推進するための、CGをベースとするCAD, CAEの完全融合を図る基盤技術を明確にする。<br>(3) 関連する学協会と協力して現在個別のコミュニティーを統括する研究発表会などを作りわが国が計算科学シミュレーション大国となる足がかりを作る。<br>(4) 関連する人材育成の方法を提案する。 |
| 5 | 設置期間 | 時限設置　年　月　日～　年　月　日<br>常設 |
| 6 | 備考 | |